

東亞局長 (花押)

東亞局第一課長 (花押)

大臣

次官 (花押)

支那事變處理根本方針 (御前會議議題) =
関係件

(昭和一三、一、一〇 東亞一)

Doc. 820-E

極秘

一 陸軍側ヨリ別紙第一號支那事變解決處理方針案
(一、一、一〇)ヲ三省間ニ於テ審議ノ上御前會議ニ於テ
決定シ度ナ旨提呈アリタルカ 外海事務當局ニ於テハ支
那事變處理ニ関シテハ既ニ根本方針トシテ對処要綱
アリ更ニ和戰兩様ノ備ヘトシテ事變對処要綱(甲)成之ニ
又蔣介石トノ和平解決ノ場合ノ條件ハ在平能速大使ニ
對シテ回答ノ際一切ノ審議ヲ完了シ居ル次第ニ付右ノ外ニ
更ニ改メテ 策案ノ必要ナルシトノ趣旨ニテ其ノ儘ニ放置
シ置キタリ

二 然ルニ參謀本部側ニ於テハ平和交渉ニ関スル對処回答案
行後媾和條件ハ甚クシク侵畧的ニシテ日支國交ノ將來
ヲ誤ラシムヘキモノナルニ付此ノ際御前會議ヲ因キ日支國交再
建ノ根本方針ヲ確立シ置キ 勦モスレバ侵畧的ニ傾カント
スル國內趨勢ニ對シ豫メ豫防方策ヲ講シ置ク必要アリト
ノ意向漸次強クナリ直接參謀本部側ヨリ陸海外三省事
務當局會議ニ出席シ此ノ精神ヲ説明ス所アリタリ 仍テ
外海及陸軍側カ右ノ如キ大體的考トナリ且ハ詢ニ結

No. 1

構付前項、如キ事情ハアルモ此際右精神ヲ活カシ置ク爲
參謀本部ノ提案通り御前會議議題ヲ練ルコトモ徒爾ニ
非サルヘシトノ意見トナリ結局別紙第三號御前會議議
題ヲ三者事務當局間ニ於テ作成シ各三者上司ノ同意ヲ得
タリ

三、仍テ一月九日午前十時ヨリ政府大本營連絡會議ヲ開催シ
右議題ヲ提案シ東亞局長ヨリ趣旨ノ説明アリ審議ノ結果
別紙第三號通り修正セラレタルカ更ニ同日午後閣議ヲ開キ
三者提案ノ議題中日支國交再建ニ關スル「イデオロギー」
的部分ヲ削除シタル別紙第四號案ヲ作成シ更ニ之ヲ內閣
參議會ニ提案同意ヲ得タル趣ナリ

四、此ルニ翌十日更ニ連絡會議及閣議ニ於テ陸軍側ヨリ別紙
第四號第三行目及四行目ヲ別紙第五號ノ通り修正シ
草案ノ趣旨復活ヲ提議アリ右ノ通り決定セリ（別紙第五號）
高陸軍側ハ右修正中「……日支兩國間過去一切ノ相剋ヲ
一掃シ……」ノ一句ヲ原案通り「過去一切ノ相剋ノ因果
ヲ清算シ」ト修正方主張シタルモ結局兩者ノ間別ニ相
剋ナシトシテ「前者ノ通り」一應決定シタルニ依リ御前會議
ノ際陸軍側ハ「過去一切ノ相剋ヲ一掃シ」トハ「一切ノ相剋ノ因
果ヲ清算シ」ノ意味ト評解スル旨述フルコトシタル趣ナリ

五、御前會議ニ平沼相密院議長モ出席スルコトナリタルニ依リ
十日夕内閣書記官長及外務次官ニ於テ議題ヲ一應説明
シ更ニ十一日朝外務次官ハ東亞局長ヲ同伴相相ヲ往訪シ

No. 3

Doc. 820-E

借問ニ應シ説明スル所アリタルカ同議長ニ於テハ特ニ交渉條件
細目四北支問題ニ関聯シ日支和議成立ノ場合現在成立セル
北支政權ヲ如何ニスヘキヤ及細目末項輿論ノ指導ニ付内心ト
意見ト有シ居タリ (御前會議ニ於テ外相及内相
ヨリ是等ノ意見付 平沼議長ニ説明スル所アリタルカ御前會議
ニ於テ全議長ヨリ意見ヲ陳述アリタル趣ナリ)

六月十一日予宣通り御前會議同催セラレ大本營ヨリ内閣
参謀總長官、伏見軍令部長官、参謀次長、軍令部長、
内閣ヨリ近衛總理、外、陸、海、内、藏各大臣及特旨ニ依リ
平沼杞密院議長出席シ別紙オ五号(乙)根下方針ヲ
決定シタルカ其際参謀總長官(別紙オ五号(丙))
軍令部長官(別紙オ五号(丁))及杞密院議長(別紙オ
五号(戊))ヨリ夫々別紙、如キ意見ノ開陳アリタリ